

交換留学報告書

派遣先	
三重大学での所属学部・研究科	教育学部 学校教育教員養成課程 特別支援教育コース
学年(出発時)	4年
大学名	梨花女子大学
国	大韓民国
留学期間	一学期(4ヶ月半)2022.08.27~2023.01.02
派遣先での身分	学部生

一日の生活スケジュール(通学時)	
	記入欄
8:00	
	授業
9:00	
	授業
10:00	
	授業
11:00	
	昼食
12:00	
	友人と過ごす
13:00	
	図書館で自習
14:00	
15:00	
	授業
16:00	
	授業
17:00	
	授業
18:00	
	夕食
19:00	
	友人と過ごす
20:00	
	帰宅
21:00	
	課題・復習
22:00	
23:00	
0:00	

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
韓国語4	月～木 各3時間	6	韓国語・英語	韓国語の書・読・聞・会話・討論。ほぼ毎日書き取りの課題あり。授業は先生やクラスメイトと会話をしながら、教科書を元に進む。試験は3日間に分けて実施(読み書き、会話)
高級日本語会話	月・水	3	韓国語・日本語	日本就職を目指す現地の学生のための日本語授業。クラスは8割韓国人、2割日本人。面接試験のための敬語練習などを行う。グループワーク有り。試験はペーパーと面接。
韓国女性史	月・水	3	韓国語	100%座学 試験は一問一答10問と長文記述2問

大学のサポート	
チューターの有無	あり
チューターのサポート内容	学内案内、必要な場合その都度連絡
語学コースの有無	基本的になし。必要であれば自主的に授業をとる。
コース名、料金、期間等	

生活	
住居のタイプ	寄宿舍
住居の名前	国際留学生寮 I-HOUSE
部屋タイプ	2人部屋
ルームメイト(国籍)	なし
室内設備	シャワー、トイレ、ベット、机、スタンドライト、電圧機(D棟のみ)
共用施設	各階浄水器と電子レンジ完備、ラウンジにコンロあり、共用トイレ
インターネット設備	全棟Wifi完備
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	寄宿舍が学内にあるため徒歩通学
アルバイトの有無	なし
アルバイトの内容	

渡航	
Visaの種類	D-2
Visa申請先	駐名古屋大韓民国総領事館
Visa取得にかかった日数	約2週間
Visa取得にかかった費用	無料
Visa取得方法、提出書類等	<p>駐名古屋大韓民国総領事館にてD-2ビザを申請</p> <ul style="list-style-type: none"> ・査証発給申請書 ・パスポート(残存期間:申請日より6ヶ月以上)原本 ・パスポートのコピー(写真ページ見開き一枚) ・カラー写真1枚(3.5x4.5cm、背景:白、6ヶ月以内に撮影したもの) ・現住所地在確認できる住民票(原本)または運転免許証、マイナンバーカードなど公的身分証明書とそのコピー(両面)*保険証は不可 ・標準入学許可証(コピー可、有効期限:発行日より3ヶ月以内)
留学先大学の最寄り空港までの経路	<ul style="list-style-type: none"> ・中部国際空港から仁川国際空港まで飛行機で約2時間 ・仁川国際空港第一ターミナルから梨花女子大学最寄り駅まで電車で約1時間 ・大学最寄り駅から大学まで徒歩5~7分
渡航費用	片道約45000円(預け入れ荷物追加あり)
ピックアップサービスの有無	なし

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	留学のために卒業を一年延期済
有る場合、その理由	
就職活動開始時期	留学前に内定済
帰国後の進路	市役所職員 一般行政事務

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円(約)	約20万円
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	約12万円
学費(教科書代や語学コース授業料等)	約35万円
宿舍費(月額)	約4万5千円
光熱費(月額)	宿舍費に含む
食費(月額)	約12万円
その他	約50万円
留学期間中にかかった費用の合計	約150万円

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

留学を終え帰国した今、4ヶ月半を振り返って今回の留学を一言で表すとしたら”大満足”。新型コロナの流行で最初の留学が白紙になり、もともと予定していた1年間という期間での留学は叶いませんでしたが、この限られた時間で私自身、出発前に想像していたよりも何十倍も成長できたと感じています。もちろん予定通り1年間の留学に行けていたらと考えることもありましたが、一学期という限られた時間であったからこそ初めから全力で充実した留学生活を送れたのかもしれない。

留学先の梨花女子大学では、「韓国語」「韓国女性史」「高級日本語会話」の3つの授業を履修しました。「韓国語」では、毎週月曜日から木曜日の朝8時～10時45分までその名の通り韓国語の勉強をしました。今学期は1級から一番上は4級までのクラスが開講されていて、各クラス25人が定員でした。基本的に大学の講義の履修登録は先着順なのでいくら受講したくても受講不可な場合も当たり前が発生します。私自身も初めはこの韓国語の授業の履修申請に失敗してしまったのですが、教授に直談判して学部の配慮で受講させていただくことが出来ました。もう一学期あるならば諦めたかもしれませんが、私には今学期しかなかったため、無理を承知で勇気を出してお願いしに行きました。こういった会話が韓国語でのやり取りになるので、自分にとっては学校生活の全てが韓国語力向上のための勉強の場でした。クラスメイトにはアジア圏や欧米人の学生が入り混じっていて、授業中のグルートークや課題、試験の進行を通して韓国語だけでなく英語の学習の機会にもなりました。「韓国女性史」は定員80人の大講義で日本人の学生は私だけ、他は正規留学生の中国人2人と残りは全員韓国人の現地の学生でした。もちろん講義も課題も試験も全て韓国語での進行になるため、初めは不安しかありませんでしたが、先生もとても親切で受講して本当に良かったと感じています。講義内容についていくために予習復習にはかなり時間を使い大変でしたが、幼い頃から興味を持っていた韓国女性史を現地韓国で学べて幸せでした。課題作成のために、韓国語で書かれた論文や本を読む中で自然と韓国語の実力も上がっていきました。「高級日本語会話」は、一見なぜ日本人が韓国まで行って日本語を？と思われそうですが、この授業は現地の学生が日本の大学に留学するために、あるいは日本の企業に就職するために日本語の敬語などを学ぶ授業でした。そのためクラスの8割が韓国人、残りが日本人という比率で、私たち日本人が韓国語で日本語を教えたり、こういったやり取りを通して自然と現地の友達を作ったりする良い機会にもなりました。この講義を受講している学生は、日本に興味のある学生ばかりなので、文化を紹介したりと会話が弾みますし、お互いに言語学習途中でもあるため、授業では分からなかった部分を分かりやすく教えてくれたり、逆に教えてあげられたりします。ここで出会った友人の中には今年、日本の大学に留学に来る友人もいます。このように受講していたすべての授業が私にとって新しい経験でもあり、成長の場でもありました。

留学中は大学生生活の他にも、休みの日や空いている時間を使って友人と旅行に出かけたり、韓国外務省外交部が主催する“日中韓3カ国外交キャブ”にも参加することができました。留学生全員が参加できるものではなく、自主的に参加申し込みをして面談試験を受けて参加するのですが、日本・中国・韓国の参加国の学生が3泊4日の間行動をともにしながらUNの方や外務省の方を含めてともに経済や環境問題などについて意見を出し合います。この4日間を通してこれまで経験のできなかった貴重な時間を過ごすことができ、また梨花女子大学以外の韓国国内全国の大学の学生とも知り合うことができました。

今回の交換留学を通して、語学学習と女性学を学ぶこと、そして就職を前に海外の文化や人々に触れることでより広い視野を持った人に成長することが目標でした。語学面では、自分以外が全員韓国人であっても一日翻訳機なしで会話をして遊んだり、間違っても自分から積極的に話しかけることができるほど実力と自信が身につきました。語学面以外でも今私自身の留学生活を振り返ってみると、元々の目標達成はもちろんそれ以上に得るものがあつたと言えます。この経験を活かして、今後さらに成長しながら社会に貢献できる社会人になりたいです。

今後留学する人へのアドバイス

留学は決して楽しいことばかりではありません。言葉が母国語のようになかなか自由に使えない中、常に自己責任で行動しなければなりませんし、苦しいこと、しんどいこともたくさん起こります。しかしその困難な壁にぶつかった分だけ、そしてそれを乗り越えた分だけ自分自身が大きく成長できます。これまで当たり前だと思ってきた常識が通用しない時、驚く考え方や文化にもたくさん遭遇しますが、留学に行こうと決意した自分の思いや夢そして目標を忘れなければ外国でのこれらの経験は、自然と価値のあるものになり、その後の人生の大きな糧になります。実際に留学に行ってみて、留学を通して、学生だからできる経験、感じ方、学びがあると感じます。迷った時はまず一歩を踏み出してみてください。その一歩が次の一歩、その先の出会いと学び、成長につながります。ぜひ、後悔のない楽しくて充実した素敵な留学生活にしてください！

報告書記入日

2023.01.28